

# 第54回 中央区政世論調査 概要版

令和6年5月実施



## 【調査の項目】

- |            |                      |
|------------|----------------------|
| 1 定住性      | 9 地域のコミュニティ活動        |
| 2 防災対策     | 10 築地魚河岸             |
| 3 健康診査     | 11 受動喫煙防止対策          |
| 4 高齢者施策    | 12 デジタル技術を活用した区民サービス |
| 5 子育て支援    | 13 広報                |
| 6 男女共同参画社会 | 14 環境                |
| 7 防犯対策     | 15 伝統と文化             |
| 8 スポーツ     | 16 施策の要望・評価          |

【調査対象】中央区に居住する満18歳以上の個人

【対象者】2,000人

【抽出方法】層化無作為抽出法

令和6年4月1日現在の住民基本台帳に登録された  
満18歳以上の個人153,770人から抽出

【調査方法】〔配布〕郵送配布

〔回収〕郵送回収またはインターネット回答

【調査時期】令和6年5月8日（水）～5月29日（水）

【調査機関】株式会社ケー・デー・シー

【回収結果】回収数 875（郵送回収 545 インターネット回答 330） 回収率 43.8%



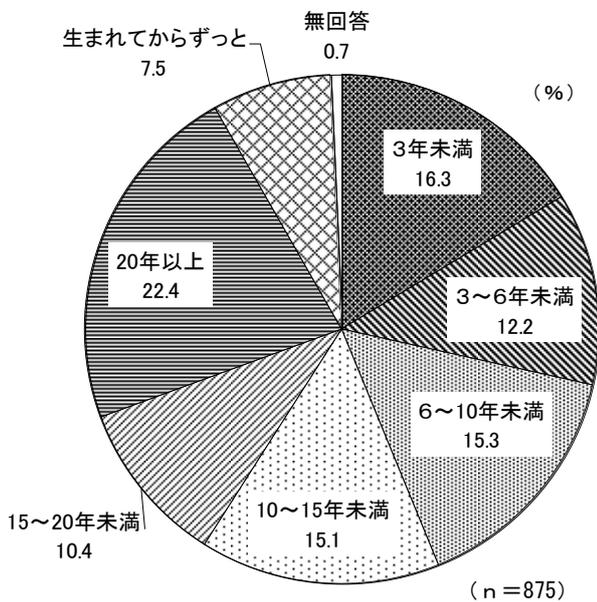
# 1 定住性

## ■ 居住年数

『短期居住者』（「3年未満」と「3～6年未満」の合計）は28.5%で3割近くとなっている。

『中期居住者』（「6～10年未満」、「10～15年未満」および「15～20年未満」の3つの合計）は40.8%で約4割、『長期居住者』（「20年以上」と「生まれてからずっと」の合計）は29.9%で3割となっている。

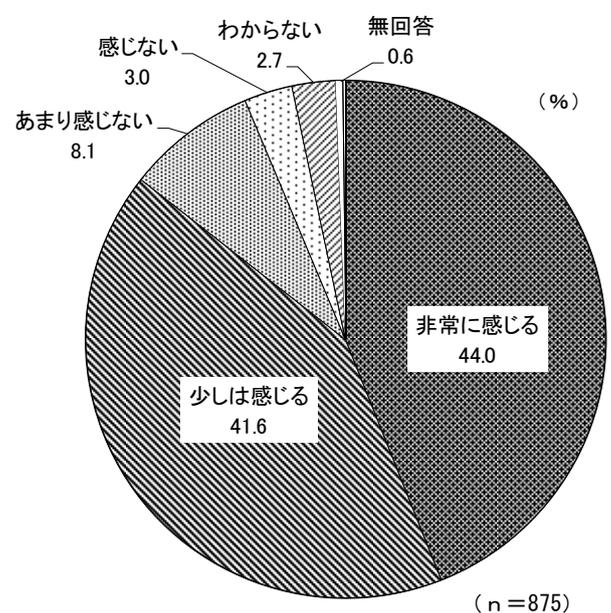
昨年の調査結果と比較すると、『長期居住者』は2.7ポイント減少し、『短期居住者』は1.4ポイント増加している。



## ■ 愛着心

『感じる』（「非常に感じる」と「少しは感じる」の合計）は85.6%で8割台半ばとなっている。一方、『感じない』（「あまり感じない」と「感じない」の合計）は11.1%で1割を超えている。

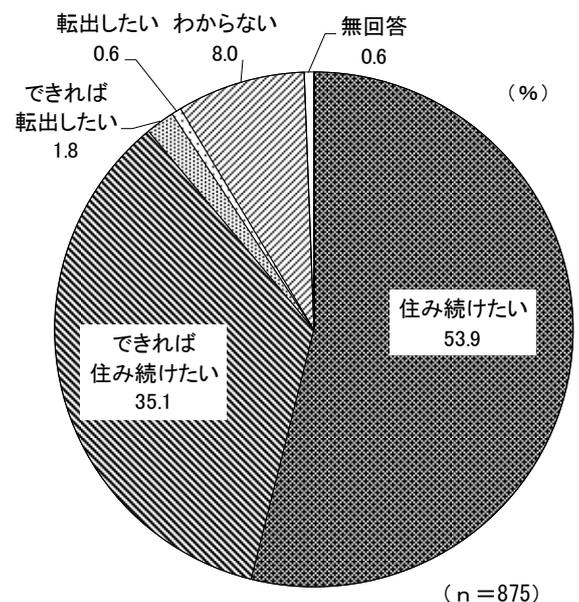
過去の調査結果と比較すると、『感じる』は平成18年以降8割台で推移している。



## ■ 定住意向

『定住意向』（「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」の合計）は89.0%で約9割となっている。一方、『転出意向』（「できれば転出したい」と「転出したい」の合計）は2.4%にとどまっている。

過去の調査結果と比較すると、『定住意向』は平成12年以降8割台で推移している。

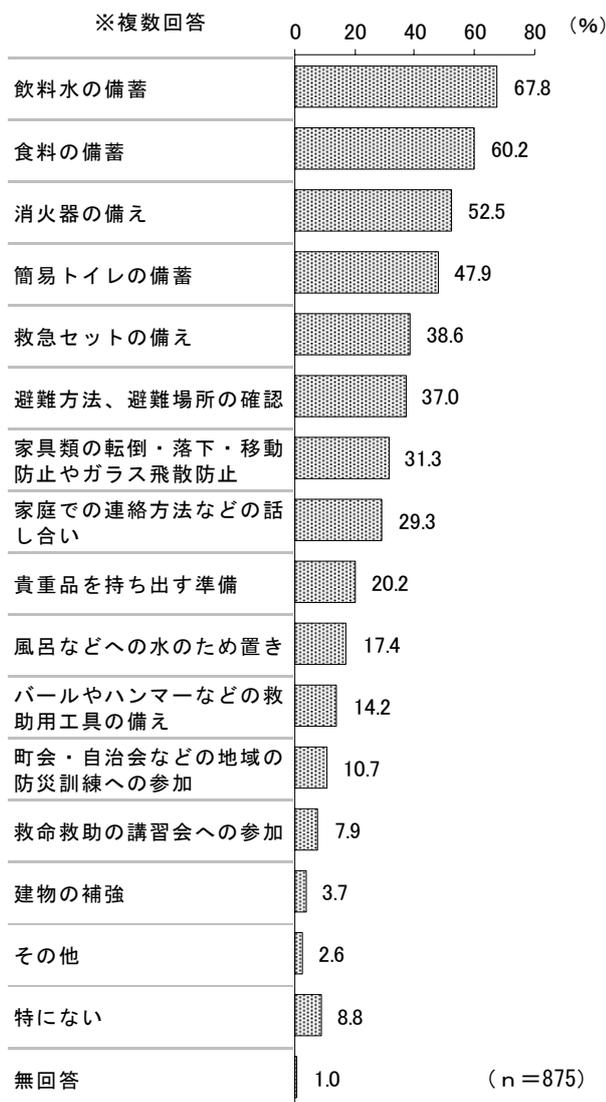


## 2 防災対策

### ■家庭での災害に対する備え

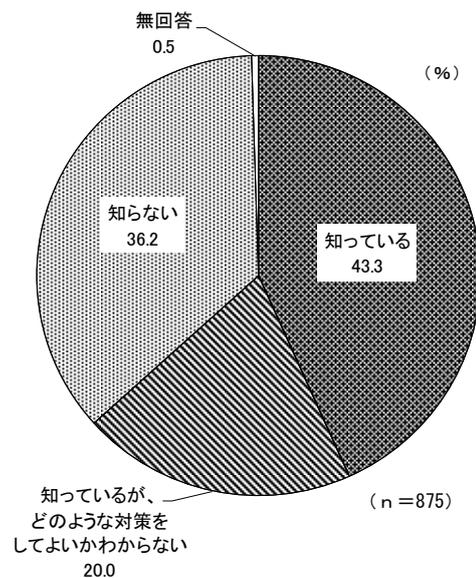
「飲料水の備蓄」(67.8%)が7割近くと最も高くなっている。次いで、「食料の備蓄」(60.2%)、「消火器の備え」(52.5%)、「簡易トイレの備蓄」(47.9%)、「救急セットの備え」(38.6%)、「避難方法、避難場所の確認」(37.0%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「食料の備蓄」は5.4ポイント、「簡易トイレの備蓄」は4.3ポイント、「消火器の備え」は2.8ポイント、「飲料水の備蓄」は2.7ポイントそれぞれ減少している。



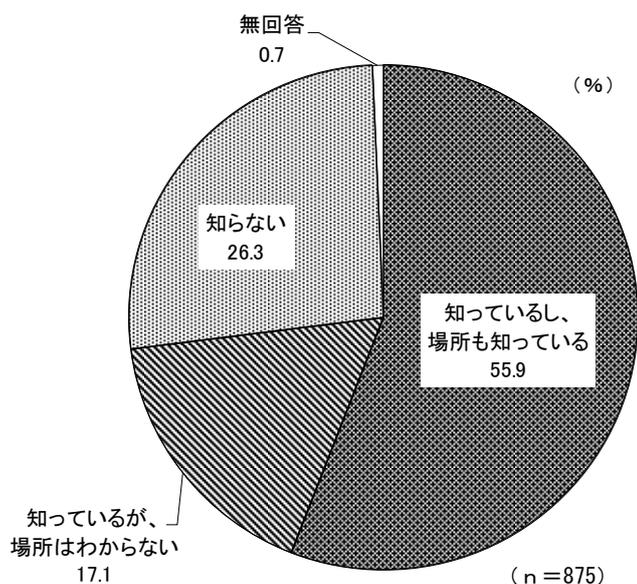
### ■在宅避難の認知度

「知っている」(43.3%)が4割を超えて最も高くなっている。「知っているが、どのような対策をしてよいかわからない」(20.0%)は2割、「知らない」(36.2%)は3割台半ばとなっている。



## ■防災拠点の認知度

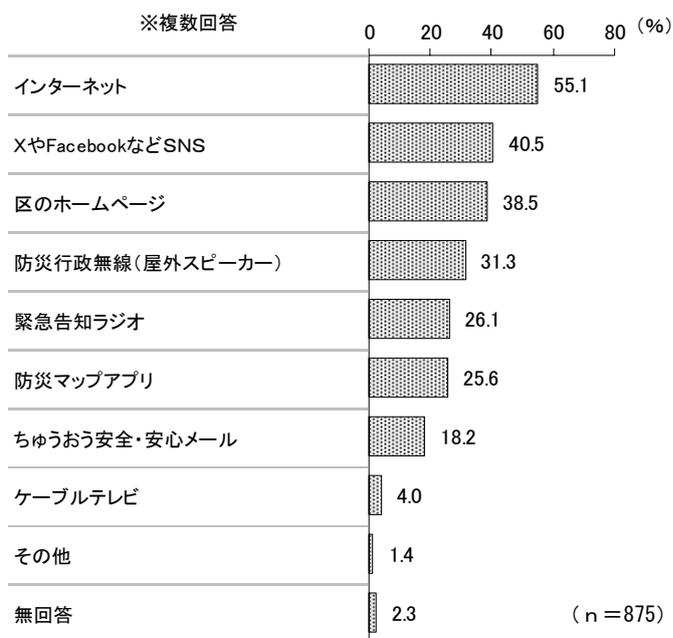
「知っているし、場所も知っている」(55.9%)が5割台半ばで最も高くなっている。「知っているが、場所はわからない」(17.1%)は2割近く、「知らない」(26.3%)は2割台半ばとなっている。



## ■災害情報を得る手段として有効だと思うもの

「インターネット」(55.1%)が5割台半ばで最も高くなっている。次いで、「X(旧 Twitter)や Facebook などSNS (ソーシャルネットワークワーキングサービス)」(40.5%)、「区のホームページ」(38.5%)、「防災行政無線 (屋外スピーカー)」(31.3%)、「緊急告知ラジオ」(26.1%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「緊急告知ラジオ」は 4.4 ポイント、「防災行政無線 (屋外スピーカー)」は 4.1 ポイント、「区のホームページ」は 3.5 ポイント減少している。

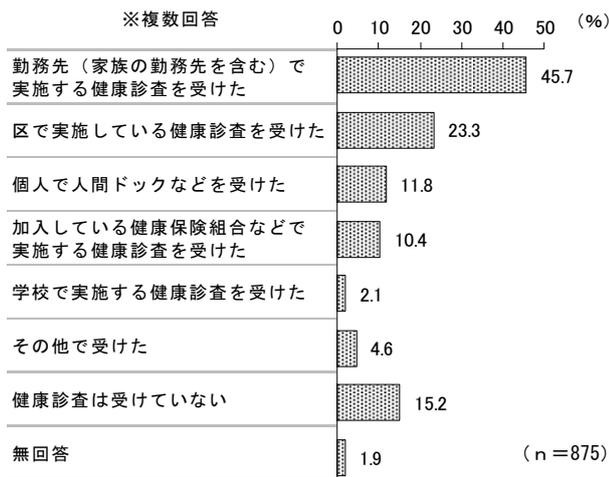


### 3 健康診査

#### ■健康診査の受診状況

「勤務先（家族の勤務先を含む）で実施する健康診査を受けた」（45.7%）が4割台半ばで最も高くなっている。次いで、「区で実施している健康診査を受けた」（23.3%）、「個人で人間ドックなどを受けた」（11.8%）、「加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた」（10.4%）などとなっている。一方、「健康診査は受けていない」（15.2%）は1割台半ばとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「勤務先（家族の勤務先を含む）で実施する健康診査を受けた」は3.6ポイント減少している。

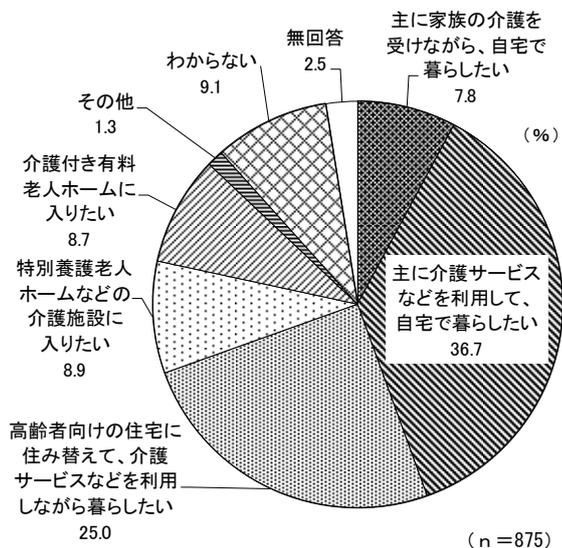


## 4 高齢者施策

### ■要介護時における暮らし方

「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」(36.7%)が4割近くで最も高くなっている。次いで、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」(25.0%)、「特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい」(8.9%)、「介護付き有料老人ホームに入りたい」(8.7%)などとなっている。

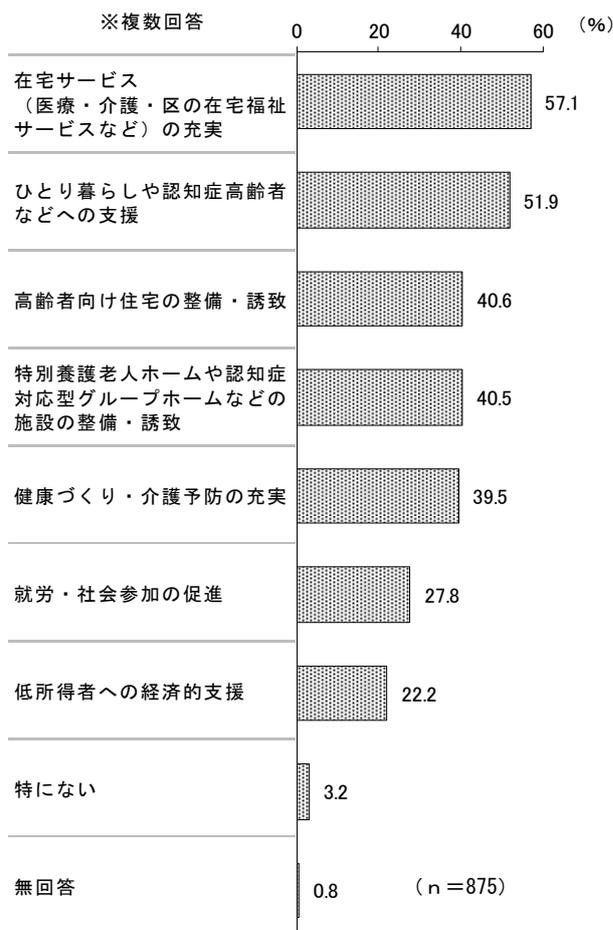
過去の調査結果と比較すると、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」は平成17年以降3割台で推移している。



### ■区に望む高齢者保健福祉サービス

「在宅サービス(医療・介護・区の在宅福祉サービスなど)の充実」(57.1%)が6割近くで最も高くなっている。次いで、「ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援」(51.9%)、「高齢者向け住宅の整備・誘致」(40.6%)、「特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致」(40.5%)、「健康づくり・介護予防の充実」(39.5%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致」は4.4ポイント増加している。

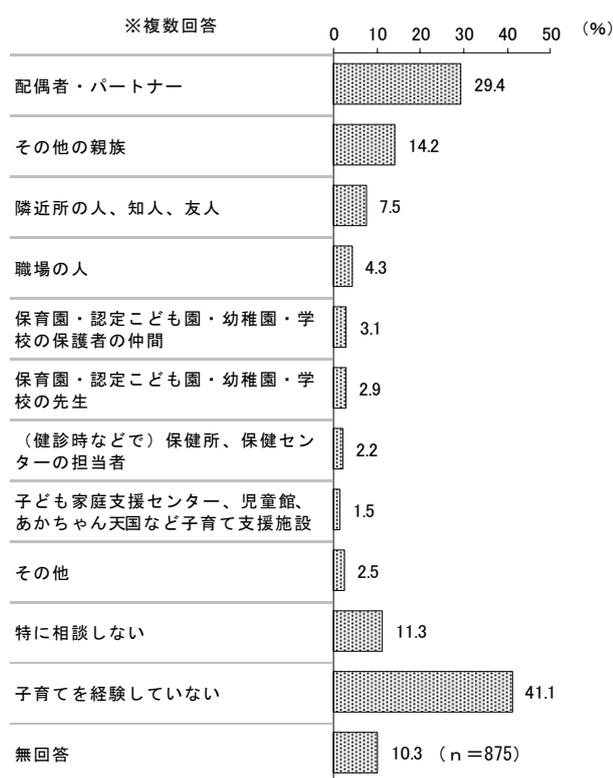


## 5 子育て支援

### ■ 子育てに関する悩みの相談

「配偶者・パートナー」(29.4%)が約3割と最も高くなっている。次いで、「その他の親族」(14.2%)、「隣近所の人、知人、友人」(7.5%)、「職場の人」(4.3%)などとなっている。

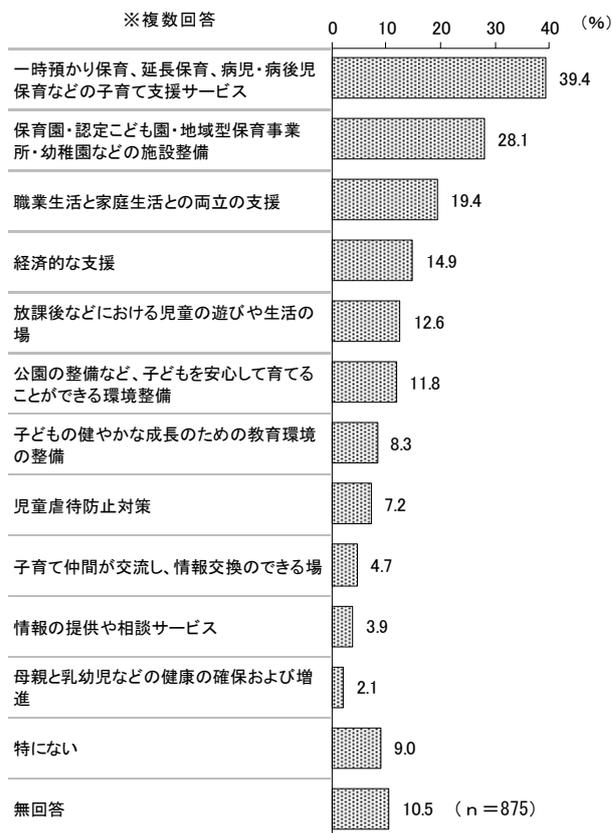
昨年の調査結果と比較すると、「配偶者・パートナー」は7.8ポイント、「隣近所の人、知人、友人」は5.3ポイント、「その他の親族」は3.9ポイント減少している。



### ■ 重要と考える子育て支援策

「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」(39.4%)が約4割で最も高くなっている。次いで、「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」(28.1%)、「職業生活と家庭生活との両立の支援」(19.4%)、「経済的な支援」(14.9%)、「放課後などにおける児童の遊びや生活の場」(12.6%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」は6.1ポイント増加している。

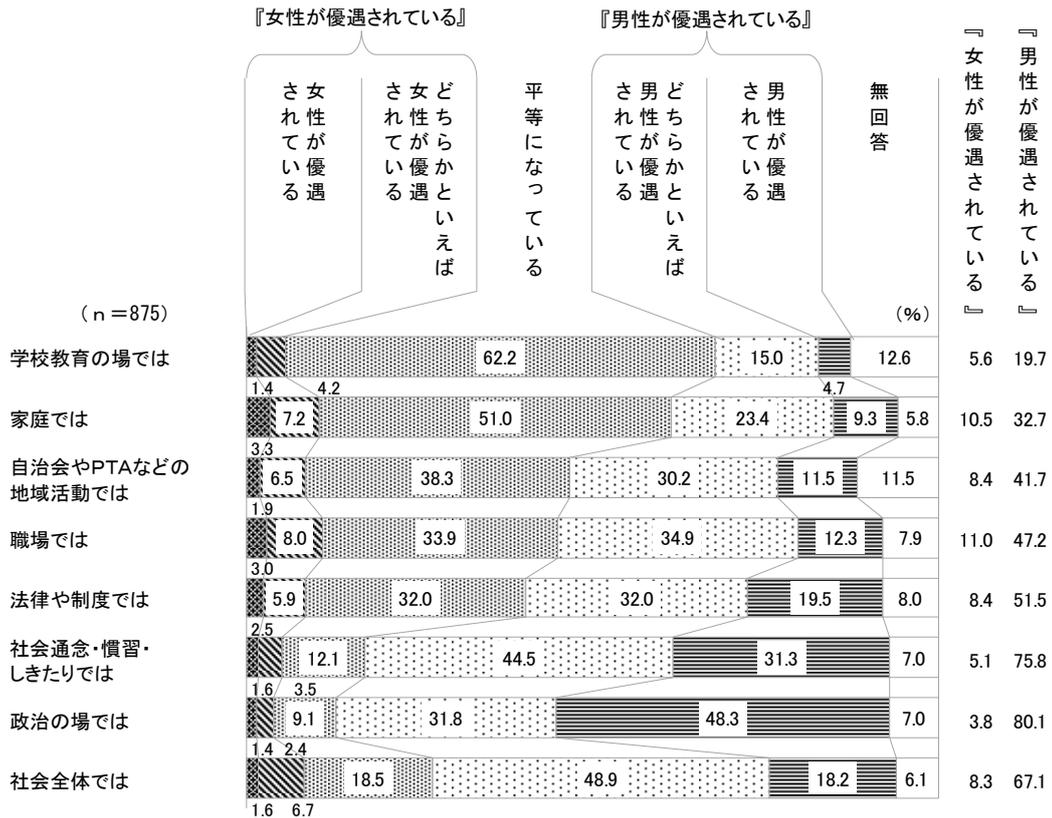


# 6 男女共同参画社会

## ■男女の地位の平等感

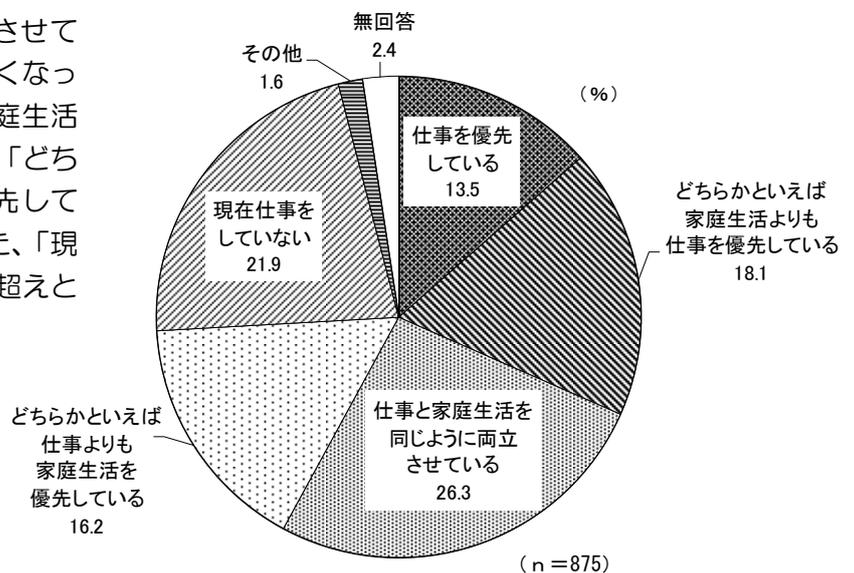
「平等になっている」と感じるのは、“学校教育の場では”（62.2%）で6割を超えて最も高く、次いで“家庭では”（51.0%）で5割を超えとなっている。

「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている』と感じるのは、“政治の場では”（80.1%）で8割と最も高く、次いで“社会通念・慣習・しきたりでは”（75.8%）で7割台半ばとなっている。



## ■ワーク・ライフ・バランスの現在の状況

「仕事と家庭生活を同じように両立させている」（26.3%）が2割台半ばで最も高くなっている。次いで、「どちらかといえば家庭生活よりも仕事を優先している」（18.1%）、「どちらかといえば仕事よりも家庭生活を優先している」（16.2%）などとなっている。また、「現在仕事をしていない」（21.9%）は2割を超えている。

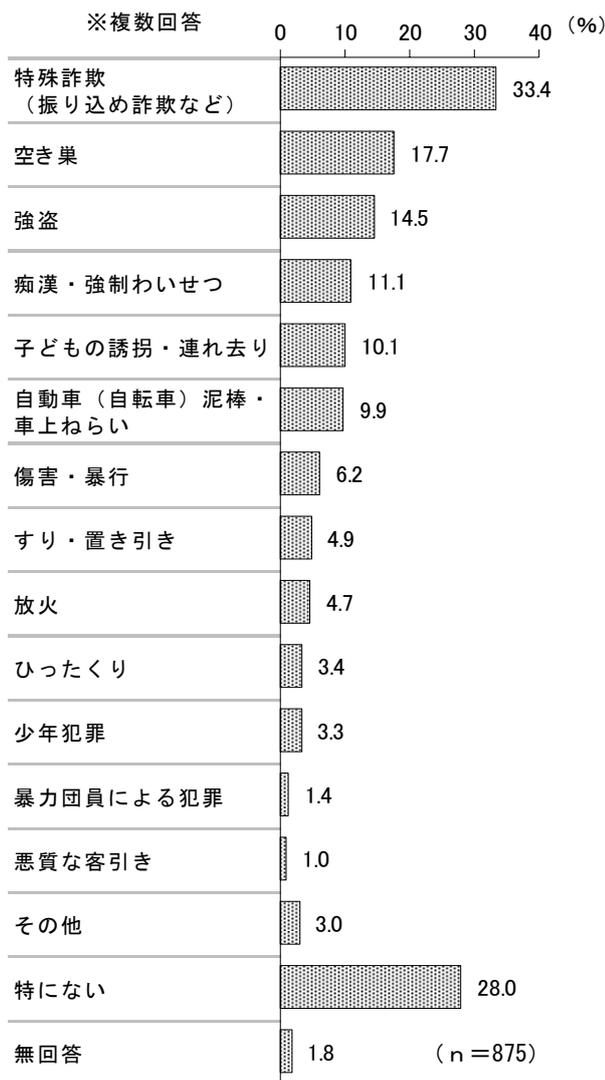


# 7 防犯対策

## ■不安に感じる犯罪

「特殊詐欺（振り込め詐欺など）」（33.4%）が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「空き巣」（17.7%）、「強盗」（14.5%）、「痴漢・強制わいせつ」（11.1%）、「子どもの誘拐・連れ去り」（10.1%）などとなっている。一方、「特にない」（28.0%）は3割近くとなっている。

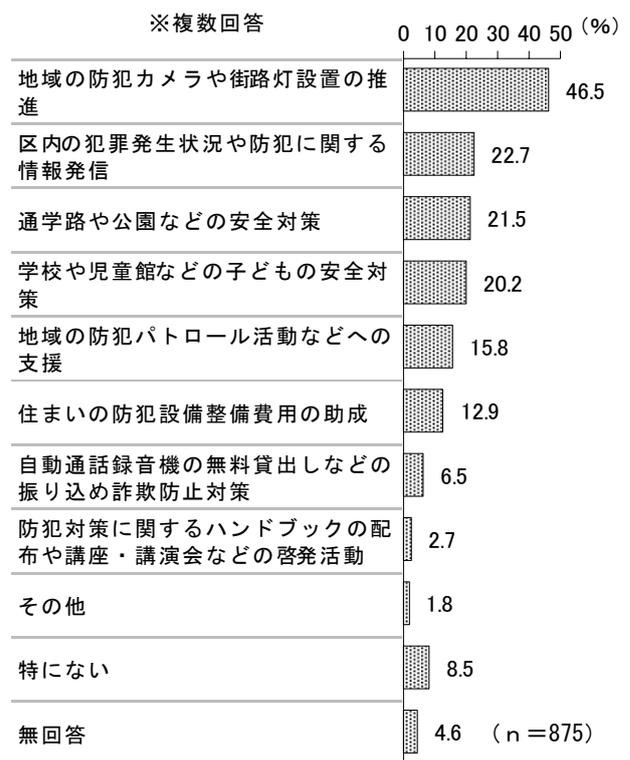
昨年の調査結果と比較すると、「特殊詐欺（振り込め詐欺など）」は4.5ポイント、「すり・置き引き」は2.2ポイント、「自動車（自転車）泥棒・車上ねらい」は1.1ポイント増加している。



## ■区に特に力を入れてほしい施策

「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」（46.5%）が5割近くで最も高くなっている。次いで、「区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信」（22.7%）、「通学路や公園などの安全対策」（21.5%）、「学校や児童館などの子どもの安全対策」（20.2%）、「地域の防犯パトロール活動などへの支援」（15.8%）などとなっている。

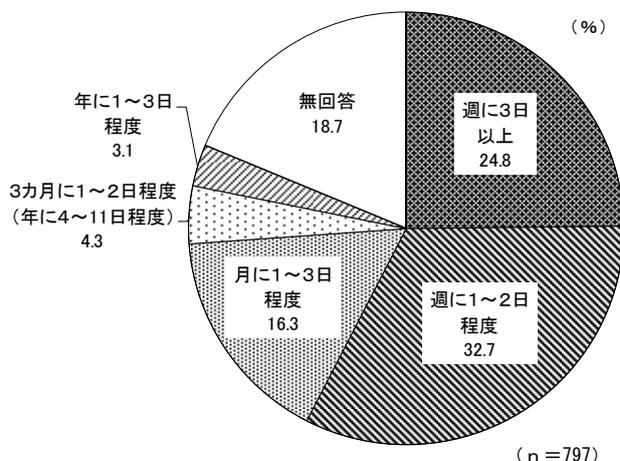
昨年の調査結果と比較すると、「区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信」は2.6ポイント増加している。



## 8 スポーツ

### ■過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度

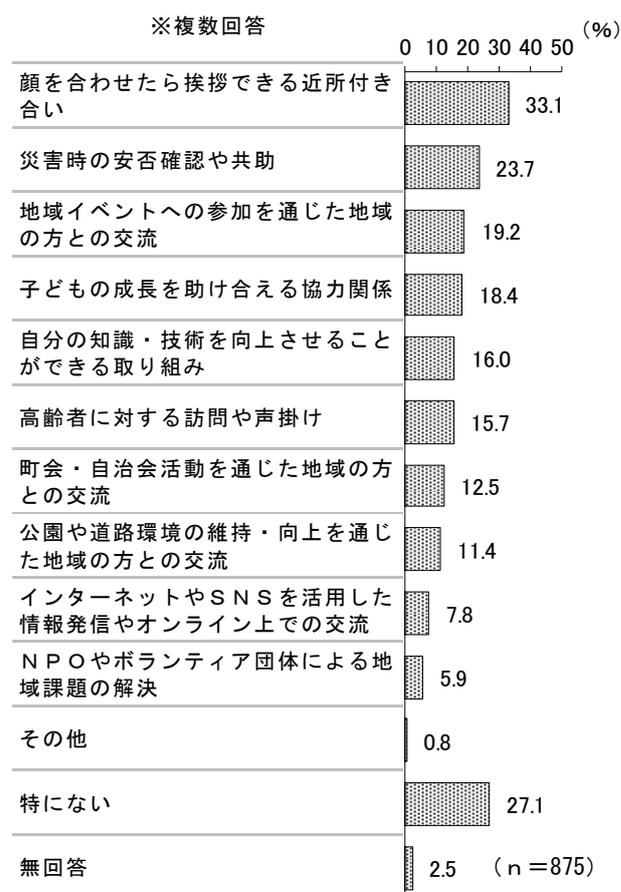
過去1年間にいずれかのスポーツや運動をしたことがあると回答した方のスポーツや運動の頻度は、「週に1～2日程度」(32.7%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「週に3日以上」(24.8%)、「月に1～3日程度」(16.3%)、「3カ月に1～2日程度(年に4～11日程度)」(4.3%)などとなっている。



## 9 地域のコミュニティ活動

### ■コミュニティに求めるもの

「顔を合わせたら挨拶できる近所付き合い」(33.1%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「災害時の安否確認や共助」(23.7%)、「地域イベントへの参加を通じた地域の方との交流」(19.2%)、「子どもの成長を助け合える協力関係」(18.4%)などとなっている。



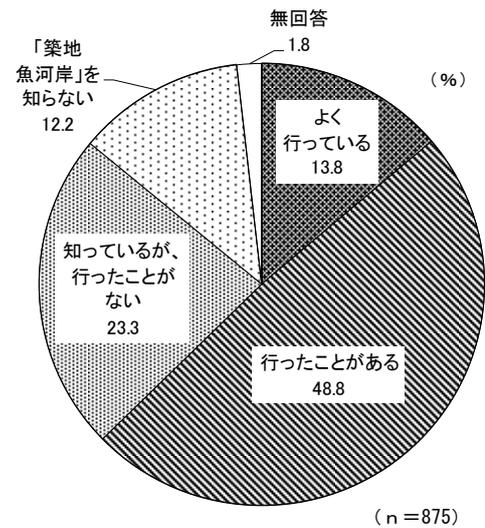
## 10 築地魚河岸

### ■ 「築地魚河岸」への来場経験

「よく行っている」(13.8%)と「行ったことがある」(48.8%)を合わせた『来場経験あり』(62.6%)が6割を超えている。

一方、「知っているが、行ったことがない」(23.3%)は2割を超え、『築地魚河岸』を知らない(12.2%)は1割を超えている。

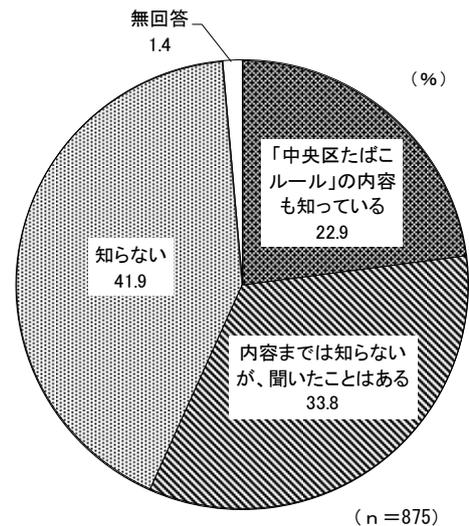
過去の調査結果と比較すると、『来場経験あり』は令和5年と比べて2.5ポイント減少している。



## 11 受動喫煙防止対策

### ■ 「中央区たばこルール」の認知度

『中央区たばこルール』の内容も知っている(22.9%)が2割を超えている。「聞いたことはあるが、内容は知らない」(33.8%)は3割を超え、「知らない」(41.9%)は4割を超えている。

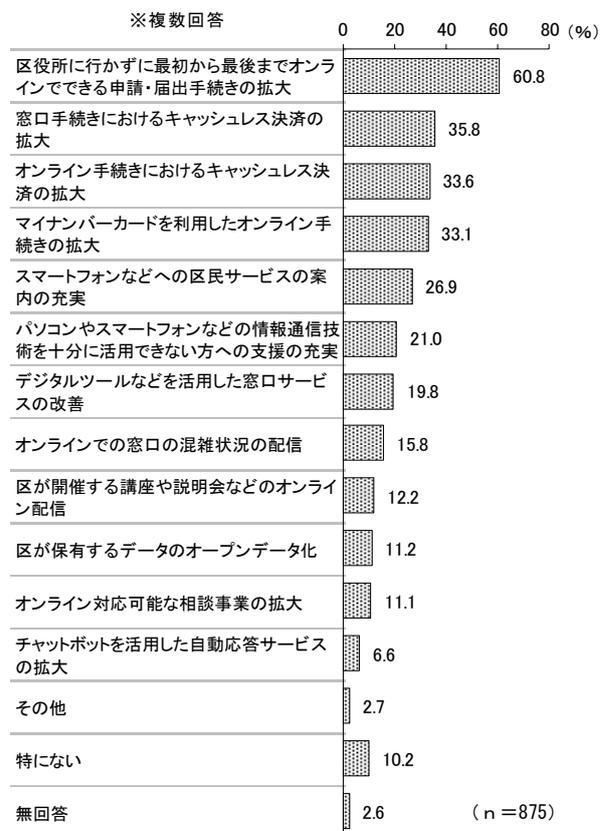


## 12 デジタル技術を活用した区民サービス

### ■区に進めてほしいデジタル技術を活用した区民サービス

「区役所に行かずに最初から最後までオンラインでできる申請・届出手続きの拡大」(60.8%)が約6割で最も高くなっている。次いで、「窓口手続きにおけるキャッシュレス決済の拡大」(35.8%)、「オンライン手続きにおけるキャッシュレス決済の拡大」(33.6%)、「マイナンバーカードを利用したオンライン手続きの拡大」(33.1%)、「スマートフォンなどへの区民サービスの案内の充実」(26.9%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「マイナンバーカードを利用したオンライン手続きの拡大」は4.1ポイント、「区が開催する講座や説明会などのオンライン配信」は2.5ポイント減少している。

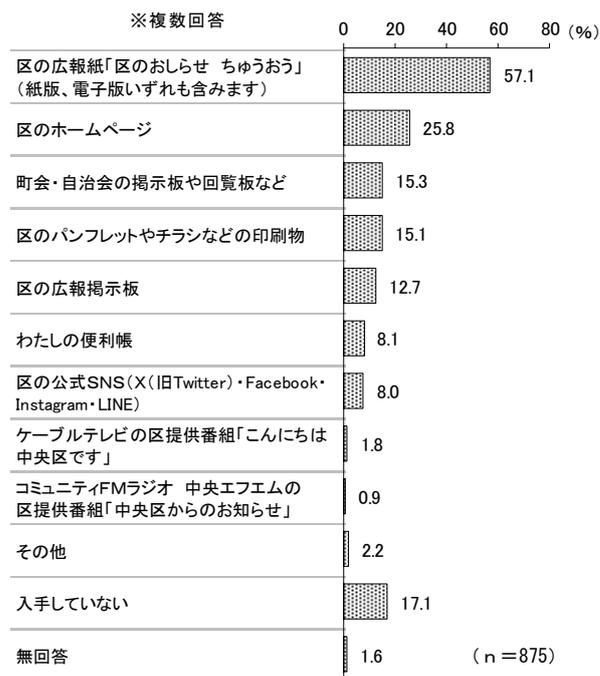


## 13 広報

### ■区政情報を得る手段

「区の広報紙『区のおしらせ ちゅうおう』（紙版、電子版いずれも含みます）」(57.1%)が6割近くで最も高くなっている。次いで、「区のホームページ」(25.8%)、「町会・自治会の掲示板や回覧板など」(15.3%)、「区のパンフレットやチラシなどの印刷物」(15.1%)などとなっている。一方、「入手していない」(17.1%)は2割近くとなっている。

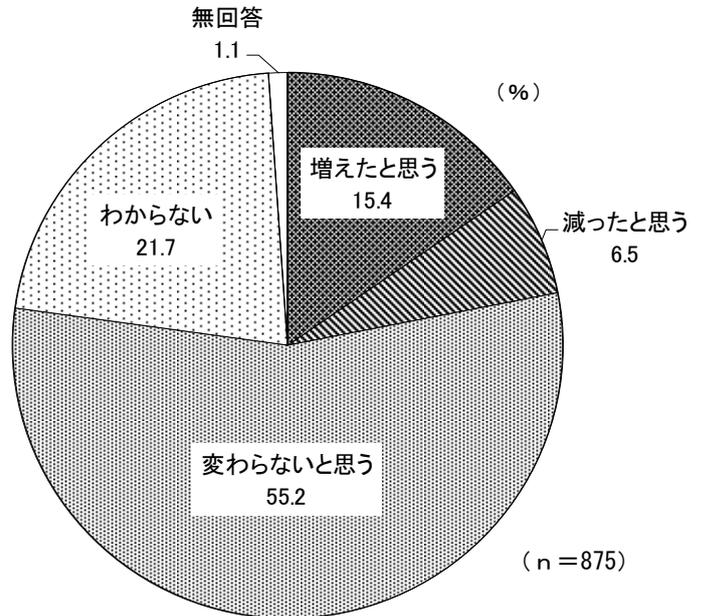
令和4年の調査結果と比較すると、「区の広報紙『区のおしらせ ちゅうおう』（紙版、電子版いずれも含みます）」は3.0ポイント減少している。



# 14 環境

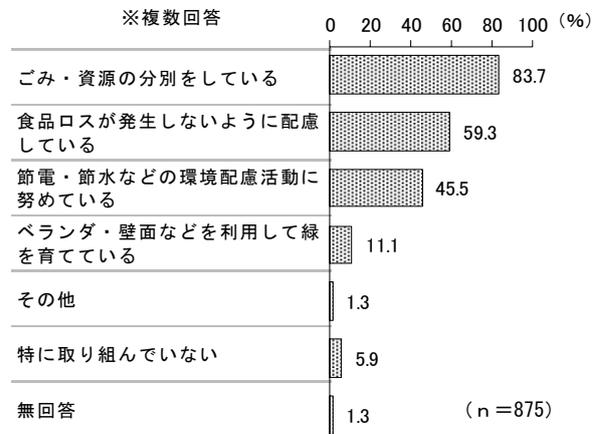
## ■区内のみどり

「増えたと思う」(15.4%)が1割台半ば、「減ったと思う」(6.5%)が1割未満、「変わらないと思う」(55.2%)が5割台半ばとなっている。



## ■環境を守るための取り組み

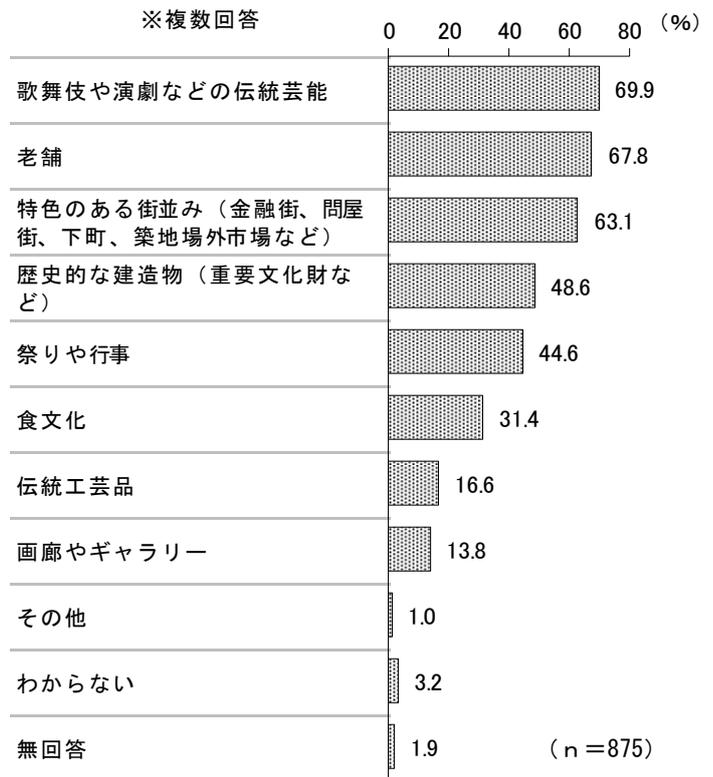
「ごみ・資源の分別をしている」(83.7%)が8割を超えて最も高くなっている。次いで、「食品ロスが発生しないように配慮している」(59.3%)、「節電・節水などの環境配慮活動に努めている」(45.5%)などとなっている。



# 15 伝統と文化

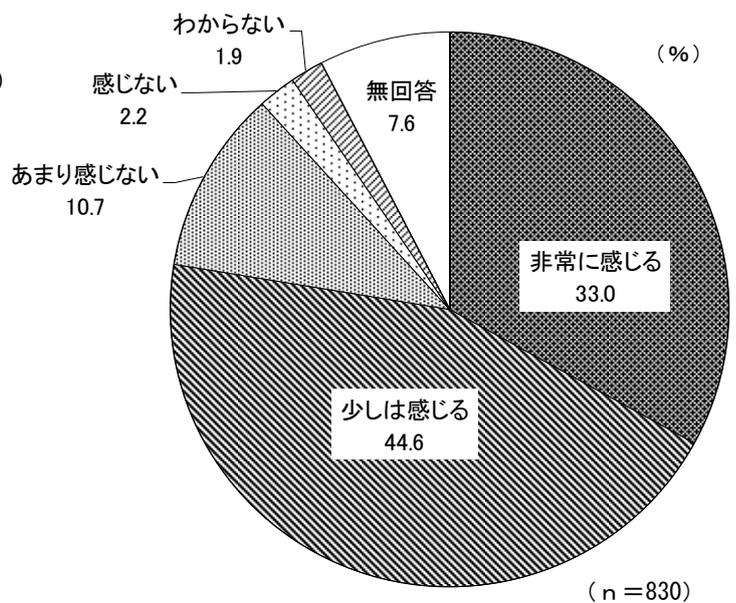
## ■中央区ならではの伝統と文化

「歌舞伎や演劇などの伝統芸能」(69.9%)が7割と最も高くなっている。次いで、「老舗」(67.8%)、「特色のある街並み(金融街、問屋街、下町、築地場外市場など)」(63.1%)、「歴史的な建造物(重要文化財など)」(48.6%)、「祭りや行事」(44.6%)などとなっている。



## ■伝統と文化を身近に感じているか

「非常に感じる」(33.0%)と「少しは感じる」(44.6%)を合わせた『感じる』(77.6%)は8割近くとなっている。一方、「あまり感じない」(10.7%)と「感じない」(2.2%)を合わせた『感じない』(12.9%)は1割を超えている。



# 16 施策の要望・評価

## ■ 区の施策の満足度

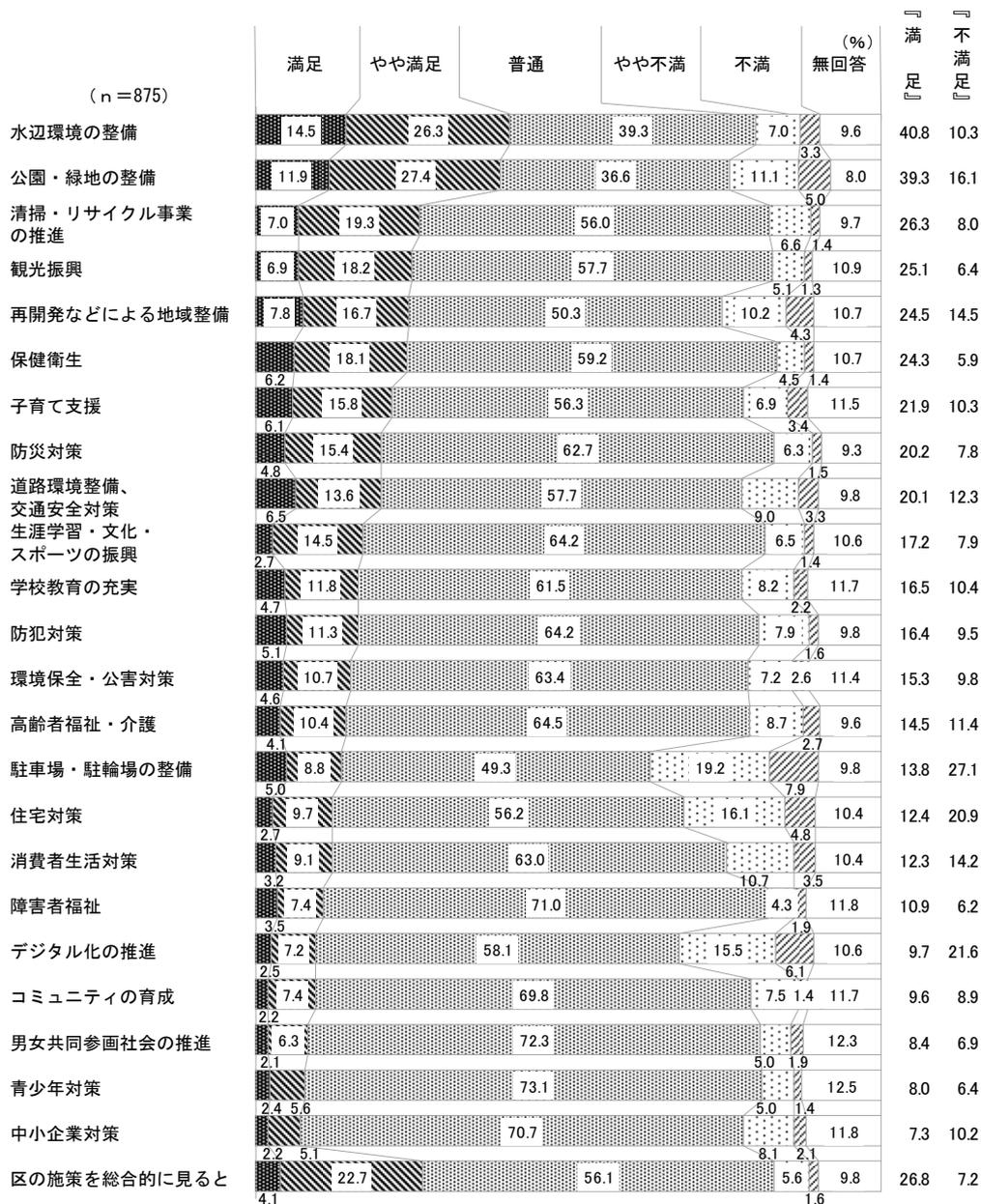
「満足」と「やや満足」の合計を『満足』とし、「やや不満」と「不満」の合計を『不満足』とした場合の、それぞれの上位5項目は次のようになっている。

『満足』

- ①水辺環境の整備 (40.8%)
- ②公園・緑地の整備 (39.3%)
- ③清掃・リサイクル事業の推進 (26.3%)
- ④観光振興 (25.1%)
- ⑤再開発などによる地域整備 (24.5%)

『不満足』

- ①駐車場・駐輪場の整備 (27.1%)
- ②デジタル化の推進 (21.6%)
- ③住宅対策 (20.9%)
- ④公園・緑地の整備 (16.1%)
- ⑤再開発などによる地域整備 (14.5%)



## ■区の施策の重要度

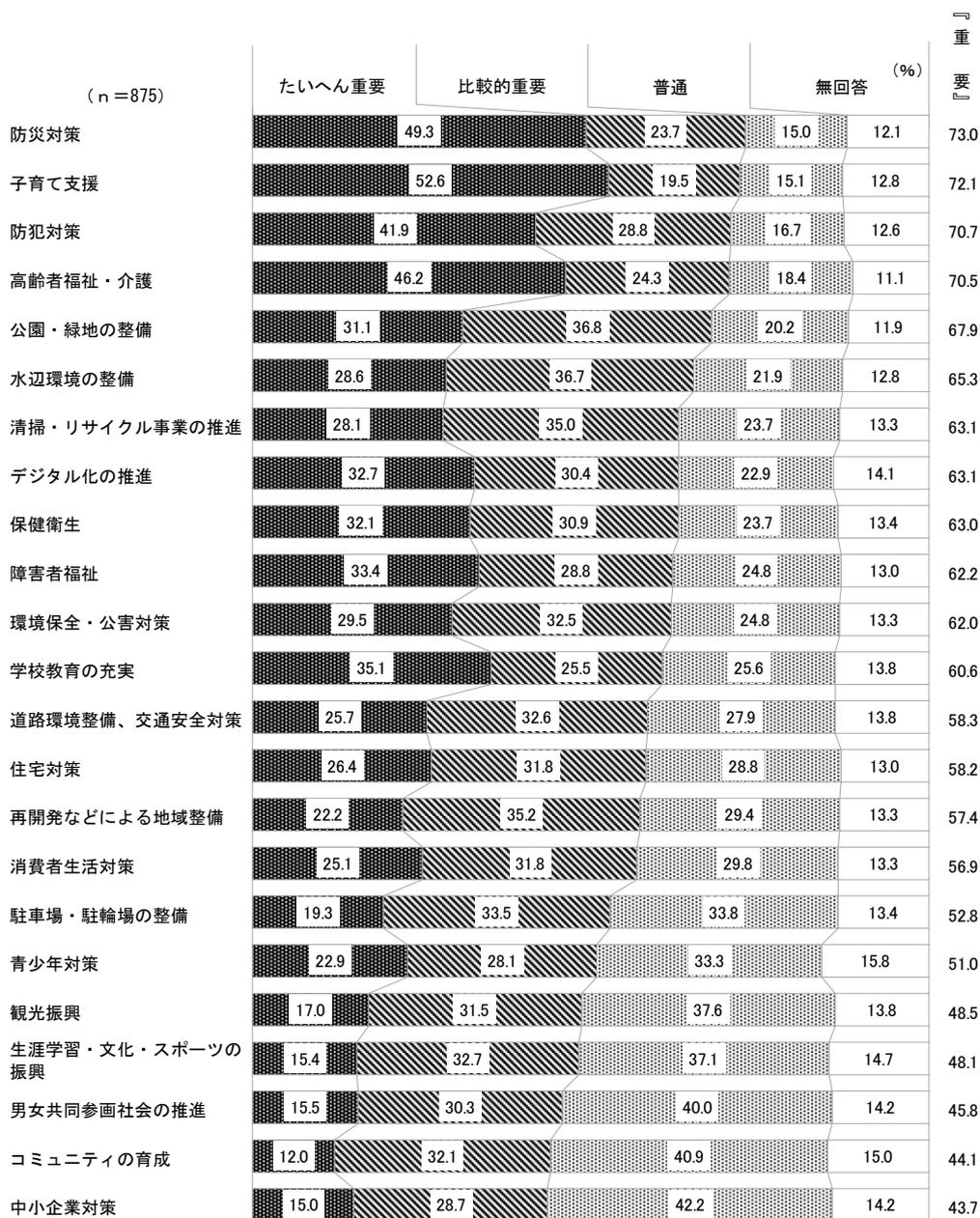
「たいへん重要」と「比較的重要」の合計を『重要』とした場合の、上位5項目と下位5項目は次のようになっている。

上位

- ①防災対策 (73.0%)
- ②子育て支援 (72.1%)
- ③防犯対策 (70.7%)
- ④高齢者福祉・介護 (70.5%)
- ⑤公園・緑地の整備 (67.9%)

下位

- ①中小企業対策 (43.7%)
- ②コミュニティの育成 (44.1%)
- ③男女共同参画社会の推進 (45.8%)
- ④生涯学習・文化・スポーツの振興 (48.1%)
- ⑤観光振興 (48.5%)



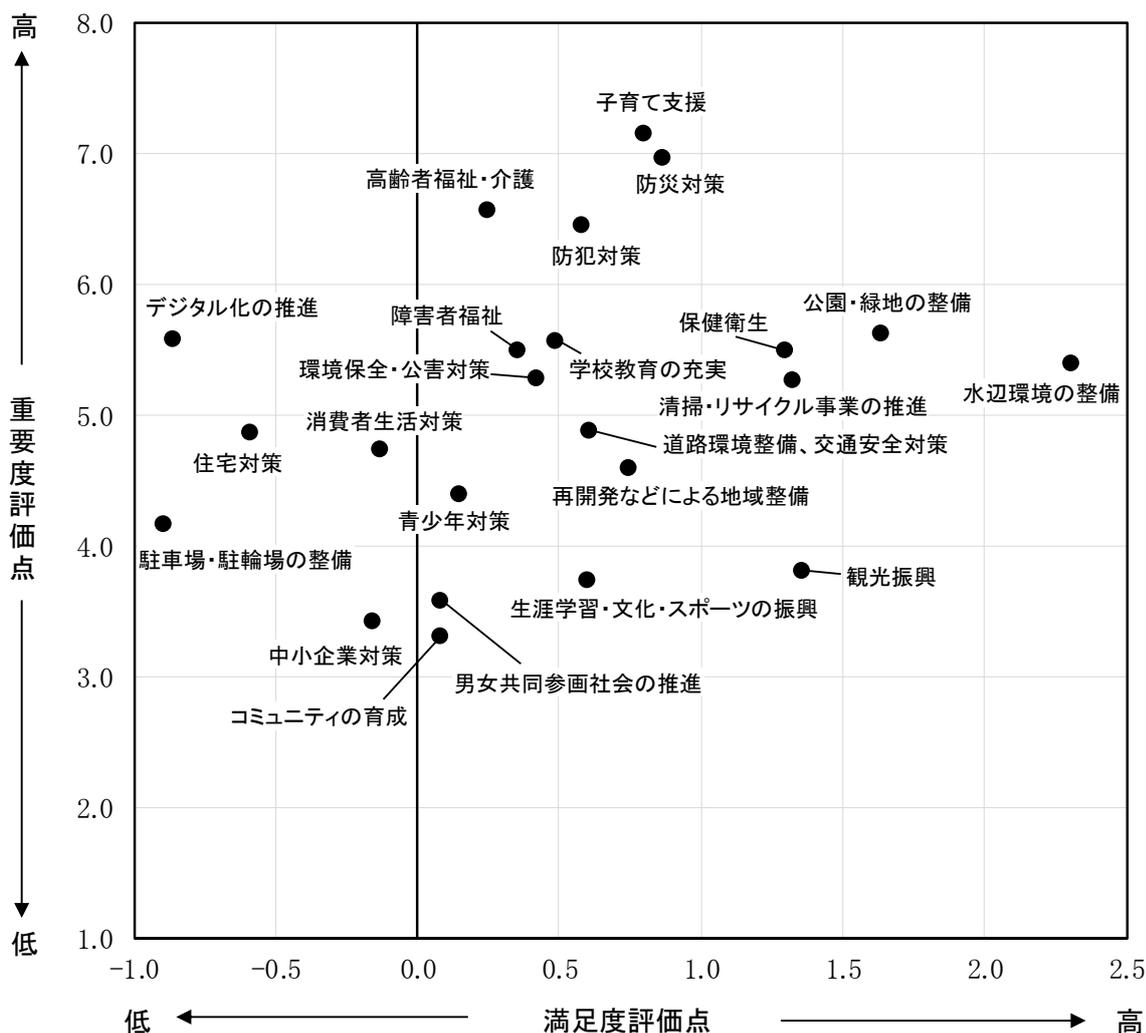
## ■区の施策の満足度と重要度の相関

次の図表は、加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図である。横軸が満足度評価点、縦軸が重要度評価点になっている。それぞれの算出方法は以下の通りである。

$$\text{満足度評価点} = \frac{(\text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「やや不満」の回答者数} \times \blacktriangle 5 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times \blacktriangle 10 \text{点})}{(\text{回答者数} - \text{無回答者数})}$$

$$\text{重要度評価点} = \frac{(\text{「たいへん重要」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「比較的重要」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点})}{(\text{回答者数} - \text{無回答者数})}$$

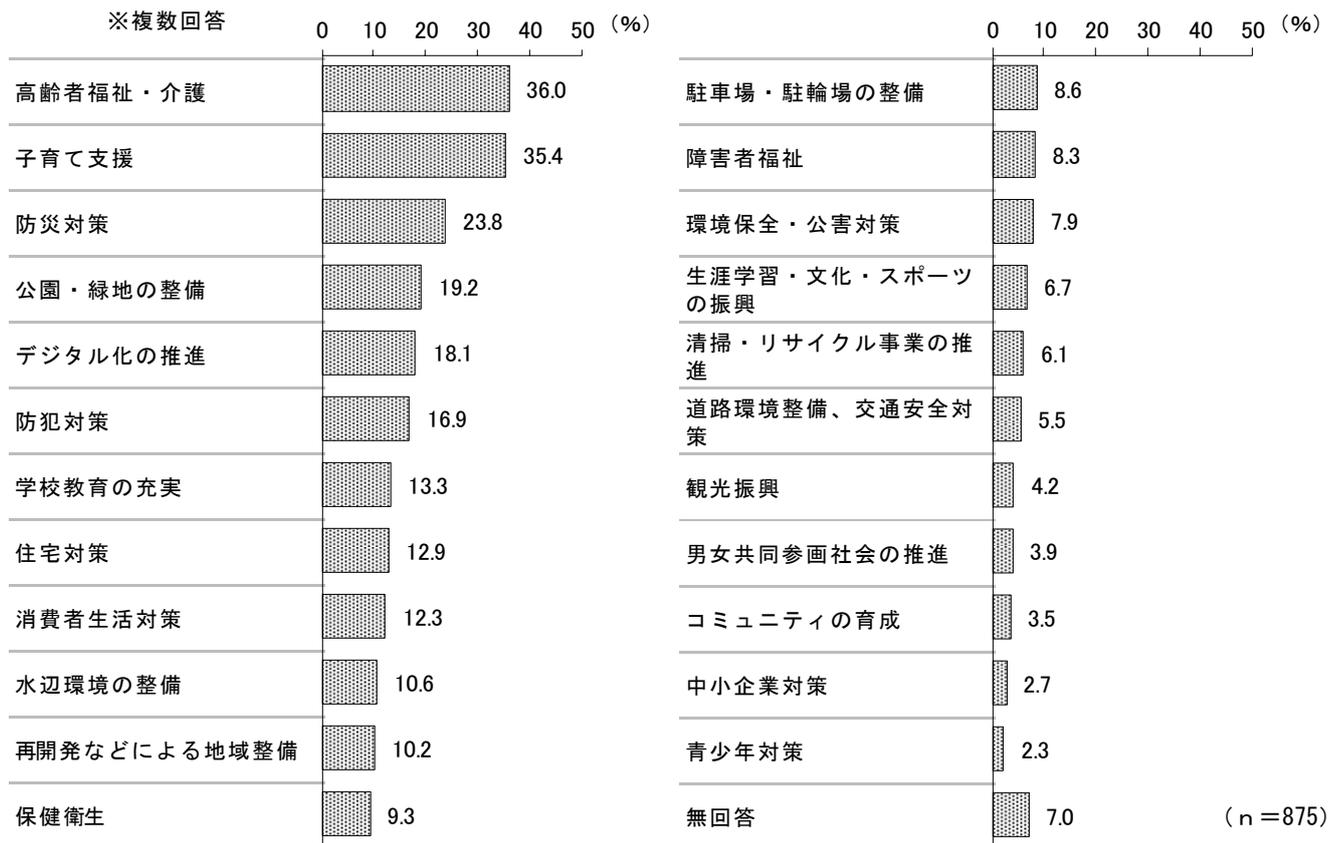
このグラフでは、満足度評価が低く、重要度評価が高い領域（左上方）にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられる。



## ■ 区の施策への要望

「高齢者福祉・介護」(36.0%)が3割台半ばと高くなっている。次いで、「子育て支援」(35.4%)、「防災対策」(23.8%)、「公園・緑地の整備」(19.2%)、「デジタル化の推進」(18.1%)、「防犯対策」(16.9%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「保健衛生」は4.0ポイント、「防災対策」は3.0ポイント増加している。一方、「子育て支援」は5.9ポイント減少している。



## 第54回 中央区政世論調査

令和6年9月

刊行物登録番号

6-047



調査報告書（本編）と概要版は  
中央区ホームページで  
ご覧になれます。

発行 中央区企画部広報課  
中央区築地1丁目1番1号  
03(3546)5222(直通)

実施 株式会社ケー・デー・シー  
港区虎ノ門4丁目2番12号  
03(5733)5111